

令和6年度 地域おこし協力隊 募集に係る詳細事項

1 本市

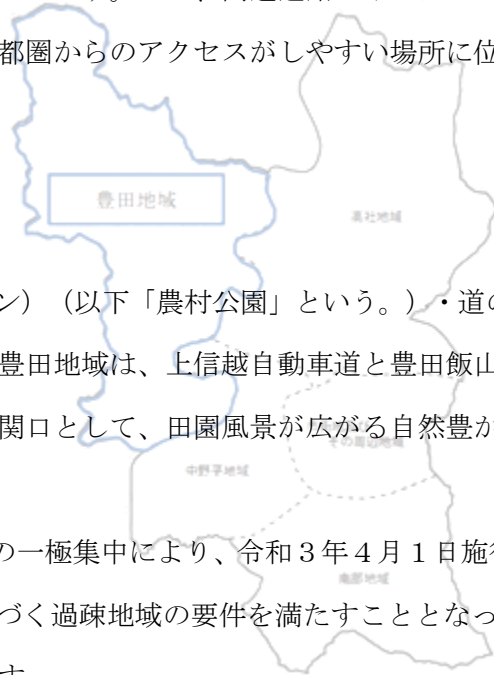
2005年4月1日に中野市と豊田村が合併して誕生した新「中野市」は、長野県の北東部に位置し、県都長野市からは鉄道で約30分から40分の距離で結ばれています。

北は飯山市、木島平村、東は山ノ内町、南は長野市、小布施町、高山村、西は飯綱町に隣接しています。また、斑尾山、高社山など象徴的な山々を背景に、千曲川、夜間瀬川などが形成した河岸段丘や扇状地、穏やかな傾斜地に集落が発達しています。

面積は東西約11キロメートル、南北16キロメートルで、合計面積は112.18平方キロメートルとなっています。気温は年間差が大きく、夏季は30度以上、冬季はマイナス10度以下となる内陸性気候です。

産業は農業がさかんで、リンゴやブドウの栽培では全国でも有数の品質と生産量を誇っています。早くからエノキタケの栽培に取り組み、キノコや果樹、野菜、花きの施設栽培の先進地、バラの名所としても知られています。

市街地にはスーパーマーケットやホームセンター・ドラッグストアなどの大規模店舗や医療機関が集約されていることから、利便性の高い市街地となっています。また、高速道路のインターチェンジが2つあり、北陸新幹線乗車駅にも近いことから、首都圏からのアクセスがしやすい場所に位置しています。



2 地域の課題

豊田農産物加工施設・豊田赤坂農村公園（ドッグラン）（以下「農村公園」という。）・道の駅「ふるさと豊田」（以下「道の駅」という。）の位置する豊田地域は、上信越自動車道と豊田飯山インターチェンジより北に400mの場所に位置し、北信州の玄関口として、田園風景が広がる自然豊かな地です。

しかし、豊田地域は、少子高齢化や首都圏への人口の一極集中により、令和3年4月1日施行の「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づく過疎地域の要件を満たすこととなったため、過疎地域の指定を受けており、課題が多くある状況です。

3 配置理由

配置施設は、豊田農産物加工施設（以下「施設」という。）とします。

施設は、道の駅に隣接しており、おやき加工室、菓子加工室、味噌加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室を備えている施設で、利用者は農産物加工品（おやきや林檎パイ等）作りを体験することができます。また、施設の指定管理者である豊田農産物加工施設利用組合（以下「組合」という。）では、地産地消にこだわる農家のお母さん達が組合を運営し、地元で収穫した野菜や果物を使った加工品（おやき、林檎パイ、ゆべし、ぼたんこしょうもち等）を、愛情込めて手作りしています。また、おやきや林檎パイは市のふるさと納税返礼品にもなっており、市内外を問わず愛された商品となっています。

組合は平成10年度の組合設立からこれまで、長野県園芸特産振興展長野県知事賞、中山間地域特別農村対策事業（優良活動事例の部）長野県知事賞、長野県農村女性きらめきコンクール（起業活動の部）最優秀賞、農山漁村女性チャレンジ活動農林水産大臣賞、農林水産祭農林漁業振興会長賞等の数々の賞を受賞してきた経歴ある団体ですが、しかしながら、近年は組合員の高齢化や減少により、作業効率が下がることから思うように活動が行えていないこと、施設の利用者が少ないことや施設の活用方法等に課題があるため、課題の解決に取り組むことのできる地域おこし協力隊員を必要としています。

4 求めるミッション

施設を拠点とし、道の駅や農村公園を活用し、豊田地域の活性化に寄与する活動に取り組んでもらいます。主な活動は、施設利用者の受け入れ（支援）、情報発信やイベント企画・実施（支援）、市場調査による新商品開発、組合が長年培ってきた加工技術の継承、組合の組織体制等の見直し、施設内の空きスペース・地域の余剰農産物・規格外の農産物の活用方法の検討、加工品を通じた地域食材の試食会等の実施（支援）、その他（定住に向けて必要となる活動や地域住民との交流等）などを想定しており、活躍の場所は多岐にわたります。

週の活動内訳については、3日を施設や組合を中心とした活動、1.5日を定住に向けて必要となる活動、残り0.5日を打ち合わせや事務処理等の活動とします。なお、活動の進捗度合等を考慮し、臨機応変に変更し活動します。

5 求められる地域おこし協力隊員としての経験やスキル

- (1) 地域の人々や協働事業者と積極的に連携し、コミュニケーション（雑談）がとれる方
- (2) SNS やインターネットを活用した情報・活動発信ができる方
- (3) 自身で課題を見つけ、解決に取り組むことができる方
- (4) 配置場所等を活用したイベントを企画し、実行（支援）ができる方
- (5) 地域力向上に向けた意欲とアイデアを持っている方

6 協働事業者

- (1) 豊田農産物加工施設利用組合
- (2) (株)斑尾（道の駅ふるさと豊田）
- (3) 地域おこし協力隊OB・OG
- (4) その他豊田地域の各種団体

7 退任後

退任後は、引き続き本市に定住され、今後の施設の担い手として、また豊田地域の地域活性化の中心として、活躍されることを希望します。

